

「釧路湿原自然再生協議会」

第 7 回 再生普及小委員会

資 料

平成 18 年 5 月 11 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

目 次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 資料1) 2005年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2005) | |
| 報告書概要(案)・・・・・・・・ | 1 |
| 資料2) 2005年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2005) | |
| 評価について(案)・・・・・・・・ | 4 |
| 資料3) 2006年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2006) | |
| 取組一覧【公開用】・・・・・・・・ | 6 |
| 資料4) 今後のスケジュール(案)・・・・・・・・・・・・・・・・ | 17 |

2005年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2005) 報告書概要(案)

1 報告書作成のねらい

釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「再生普及行動計画」と略)の2005年度具体的取組みの状況を記録する。

再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。

新たな取組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

2 作成方針

再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか分かりやすく説明する。

具体的取組みの実施者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。(編集イメージ案参照)

関係者のみならず、さまざまな立場の人に手にとっていただけるよう、デザイン・装丁等に配慮する。

印刷物としての配布だけでなく、再生普及行動計画WG通信等のウェブサイトでも公開する。

3 仕様

装丁 / A4判、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約100ページ

印刷部数 / 1000部

発行者 / 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

発行日 / 2006年6月下旬

4 配布先

釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関 127 団体・人

公共施設、機関 74 ヶ所

釧路管内教育機関(小・中・高・大・専・養護) 114 校

WG事務局より、随時配布・提供

希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送 無料で提供

5 構成

(次頁参照)

2005年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2005) 報告書構成～目次～(案)

はじめに

発行者代表(再生普及小委員会委員長)名で挨拶文を記載

1 ワンダグリンド・プロジェクトとは

再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述

再生普及行動計画の10項目概要をパンフレット記載レベルで記述
(WGでの検討写真を入れる)

2 2005年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2005)の経緯

2005年度具体的取組みの募集～とりまとめの経緯を記述

3 2005年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2005)取組み一覧

再生普及行動計画の10分類別一覧表を掲載

4 2005年度具体的取組み(ワンダグリンド・プロジェクト2005)の報告

実施者50音順で、報告のあった約70件の取組みを記載

各実施者作成の報告を、統一した書式(次頁参照)により編集

各団体の連絡先は個票には記載せず、問い合わせ先として事務局を冒頭に記載

参 考

釧路湿原自然再生協議会の構成と再生普及行動計画WG名簿を記載



主催者
(株)FMくしろ

コミュニティFMとして、釧路市及び
釧路町をエリアに地元に着目した放送
をしている。
URL: <http://www.fm946.com/>

取組み
概要

① ラジオを通じて、季節によって変わる旬な湿原情報を提供します



取組み
の
ねらい

★地元の自然である釧路湿原に関わる多くの出来事を、たくさんの人に知ってもらう。
★地元メディアを中心としたマスメディアを活用し、人々の湿原への関心を喚起する。

実施の
様子

放送時間： 毎週月曜日 午後1時40分ごろ～ (約10分)

ゲストコメンテータとして大西英一氏(釧路短期大学教授)を毎週お迎えして番組を制作・放送している。内容は湿原の見どころや自然を守るために心がけていただきたいことなど多岐にわたる。

【放送内容】

- 4月 : 光環境(林床の植物)・スプリングエフェメラル・アオサギ・イトウの春
- 5月 : 湿原と中国大使・ミズグモ・湿原の昆虫・ウグイス
- 6月 : タンチョウ・キタサンショウウオ・湿原初夏の小鳥・ハナタネツケバナ
- 7月 : カッコウ・ダニ・シマフクロウ・動物園
- 8月 : 湿原の希少動植物・川の日ワークショップ・湿原と修学旅行・ホテル
- 9月 : タヌキ・エゾフクロウ・ギボウシ・食虫植物
- 10月 : コエゾゼミと湿原のチョウ・湿原のトンボ・秋の七草・夢ヶ丘と夢見ヶ丘
- 11月 : マタタビ・オニグルミ・里山・河川の復元
- 12月 : 湿原の渡り鳥・湿原の紅葉・植物の休眠・ミンク
- 1月 : エゾユキウサギとモモンガ・オオカミ・厳冬の湿原・冬芽
- 2月 : 冬の湿原と湖沼・寒さに耐える木々・寒さに耐える鳥たち・湿原とワサビ
- 3月 : 鳥のわたり・根ひらき・湿原とフクロウ・湿原とサクラ



主催者
の感想

- 大西先生の自然に対する想いが伝わっており、放送時間を問わず問合せが来ることもある。
- FMくしろの放送番組の中では、専門的な話も出てくるなどちょっと異色な内容です。
- 少々難しいお話もありますが、パーソナリティとの対話でやさしく伝えることが出来ていると思う。
- 自然保護や湿原はとて身近なものだと気付かせてくれる番組です。

成果

- ★発信回数：48回
- ★様々なテーマで情報が発信されており、釧路湿原に関するたくさんの魅力を伝える番組となっている。
- ★実際に湿原を訪れる機会がない人でも、地元の環境や湿原について関心を抱き、理解を深めるきっかけを提供できているものと思われる。



2005年度具体的取組み(ワンダグリダ・プロジェクト2005)

評価について(案)

1 2005年度当初に設定した評価手法・指標

(1)2005年度具体的取組み(ワンダグリダ・プロジェクト2005)のとりまとめにあたっては、取組みの実施状況について何らかの評価を実施する必要性がWGで指摘され、応募のあった取組みのそれぞれについて、あらかじめ評価手法を検討し併記した。

(2)こうした分野の評価手法は確立されていないため、量的指標による評価が可能なものについてはそれを把握し、量的評価ができないものについては、主として内容についての質的評価を行う方針とし、取組みのそれぞれについて評価手法を仮に設定した。評価指標として考えられるものには、次のようなものがあり、可能なものについては、これらを組み合わせた評価を行うこととした。

<量的指標>

- ・(事業・行事等の)参加者数、実施回数、普及機会の件数
- ・(啓発資材等の)配布数、設置場所数、販売部数、作成数
- ・(情報整備・提供等の)発信回数、データ項目数、ファイル数、紹介件数
- ・協賛・寄付額・件数

<質的指標>

- ・事業実施内容、成果物、研究報告等

2 今回の報告書作成にあたっての評価方針

(1)客観的に記述できる量的指標については、可能なものは実績を記載する。

(2)質的な指標については、「成果」としてコメント的に記載する。(裏面参照)

理由

数値評価の基準がない

例えば、行事の参加者数は何人以上であれば「よい」とし、何人以下なら「悪い」とするのか、判断の基準がない。また、多くの取組みについて、あらかじめ数値目標が設定されていないため、そもそも達成度の単純な判断ができない。

客観的な評価の方法がない

事務局が全ての事業を詳細に把握できるわけではないので、評価のよりどころとなる基礎的情報は、実施者からの報告に頼らざるを得ず、仮に事務局が取材等で実施状況のある程度把握できたとしても主観的な評価となる。これを客観的な評価とするには、WGで個々の評価を検討すること等が必要となるが、膨大な作業を要し、必要な情報を完全に共有することは不可能に近い。

以上の理由により、再生普及行動計画に基づく各年度の具体的取組みは、そもそも実施者による自主的な取組みの集まりであり、その個々に対して外部から善し悪しを判定するには無理がある。

2005年度具体的取組み(ワンダグリンダ・プロジェクト2005)評価の例(案)

| 主催者 | 取組み概要 | 成 果 |
|-------------------|--|---|
| 北島万鈴 | 釧路湿原周辺施設にて、演奏（釧路湿原をイメージしたオリジナル曲）の協力をします。 | 実施回数：2回 ・初めてビクターズラウンジを訪れた人もおり、コンサートを開催することでより多くの人に湿原の事を知ってもらう機会を提供できた。 ・コンサートの合間に自然再生の話をする事で、意外性をもって自然再生の話伝えることができた |
| 高木佐和子 | 釧路湿原周辺施設にて、楽器演奏(フルート)の協力をします。 | 実施回数：1回 ・観客の多くは観光客であり、地元の人はわずかであった。PRに改善の余地がある。 |
| NPO法人トラストサルン釧路 | トラスト地におけるボランティア作業の受け入れを行います | 参加者数：約117名 活動が地域に認知されており、イベントの参加者も多い。市民参加による自然再生活動の国内有数の先進事例であり、さらなる発展とともに他団体、地域への波及が期待される。 |
| 太平洋総合コンサルタント株式会社 | 湿原に関する環境教育を実施します | 受講者数：約120人 ・地域の企業による社会貢献活動事例であり、広報・周知により他社への普及や地域ぐるみの環境保全活動への発展等が期待される。 ・釧路川という身近な環境を専門家の指導により科学的に学ぶ活動としても貴重。参加者に環境科学への関心や、今後の進路を考えるきっかけを提供できたものと思われる。 |
| 法政大学経済学部西澤ゼミナール | ゼミにおいて釧路湿原自然再生事業を調査・研究し、制作を提言します | 研究報告：報告書 「地域と一体となった自然再生事業を目指してin釧路湿原」 ・地元側のコーディネーターの存在なしには実現できなかったものであり、こうした対応窓口が研究や視察の受け入れや、それらを通じた間接的な情報発信に極めて有効と考えられる。 ・地域外の視点の提供や、地域経済との関係の提案等、こうした機会により得られる知見もあり、こうした研究のフィールドの提供やそのための支援は有効と思われる。 |
| 国土交通省・環境省・林野庁・北海道 | 釧路湿原の環境情報を集約してデータベースを作成します | データ項目数：61 ・関係各所の資料を一同に集めた資料は貴重である。 ・現在、資料閲覧希望者には担当省庁へ直接問い合わせることになっているが、窓口の一元化などが期待される。 |



2006年度 具体的取組み
(ワンダグリンド・プロジェクト2006)

取組み一覧【公開用】(案)



2006年5月11日現在 応募総数 22団体(個人) / 40取組み
協議会 / 12取組み

ワンダグリンダ・プロジェクト2006 取組み一覧表

| 2006年度具体的取組み予定 | 新規or継続 | 対象者 | 主催者・協力者 | 評価手法 | 備考 |
|----------------|--------|-----|---------|------|----|
|----------------|--------|-----|---------|------|----|

1. 人々の湿原への関心を喚起する

| | | | | | |
|--|----|------------|---------------------------|------------|-------------|
| ラジオ番組「ゆうゆう釧路湿原塾」を毎週放送します | 継続 | 一般 | FMくしろ | 発信回数 | |
| 湿原流域の水辺において体験型環境教育を行います | 新規 | 小学校高学年以上 | 環境コンサルタント株式会社 | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 環境省の自然ふれあい行事で、自然再生事業をPRします | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 参加者数 | 3, 6, 7に再掲 |
| 湿原観察会を実施します | 継続 | 一般 | 釧路国際ウェットランドセンター | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 湿原に関するニュースレターを、英語版と日本語版で発行します | 継続 | 一般 | 釧路国際ウェットランドセンター | 配布数 | |
| ホームページによる釧路湿原の情報を発信します | 継続 | 一般 | 釧路国際ウェットランドセンター | アクセス数・更新回数 | |
| 「いきいき女性講座」において、釧路湿原の動植物の生態系や湿原の果たす役割などを学習します | 継続 | 女性 | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 「まなぼっとお達者塾『いきがい新発見』」において、ノロッコ号に乗って釧路湿原のすばらしさを実感し、自然の大切さを再認識します | 継続 | 一般 | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 「まなぼっ子ども探検隊」において、子ども達に自然体験をしてもらいます | 継続 | 子ども(小4~小6) | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 5, 7に再掲 |
| 「湿原 ほたる講座」において、親子でほたるについて学習した後、温根内にて観察を行います | 継続 | 一般 | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 「1/4ウォーク」を開催し、釧路湿原国立公園周辺約80Kmを廻ります | 継続 | 一般 | 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 | 参加者数・実施内容 | 8に再掲 |
| 湿原に関する情報を毎月紙面で発行します | 継続 | 一般 | 釧路湿原国立公園連絡協議会 | 実施内容 | |
| ホームページによる釧路湿原の情報を発信します | 継続 | 一般 | 釧路湿原国立公園連絡協議会 | アクセス数・更新回数 | |
| ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・アクセス数 | 5, 9, 10に再掲 |
| 釧路湿原コンサートを開催します | 継続 | 一般 | 釧路新聞社・釧路町観光協会・細岡ビクターズラウンジ | 参加者数・実施内容 | |
| 釧路湿原の魅力、歩き方に関する情報を発信します | 継続 | 一般 | さとぼん(管理人ハンドルネーム) | アクセス数・更新回数 | |

| 2006年度具体的取組み予定 | 新規or継続 | 対象者 | 主催者・協力者 | 評価手法 | 備考 |
|---|--------|--------|---------------------|------------|--------|
| 旅を通じて自然の美しさや大切さを、自然に感じられるような釧路湿原の情報発信をします | 継続 | 一般 | さとぼん(管理人ハンドルネーム) | アクセス数・更新回数 | |
| 湿原に関する環境教育を実施します | 継続 | 標茶高校生徒 | 太平洋総合コンサルタント株式会社 | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 湿原保護再生のための研究、教育活動、地域への発信、意見交換会の実施等 | 継続 | 一般 | 北海道標茶高等学校 | 参加者数・実施内容 | 2,7に再掲 |
| 「じゅう箱のシミ」を媒体に、湿原再生の取組みやそこに関わる人々の姿をわかりやすく楽しく市民に発信します | 継続 | 一般 | ボランティアネットワーク・チャレンジ隊 | 発行回数・発行部数 | |
| 「釧路湿原“音”探検」を実施します | 継続 | 一般 | ボランティアネットワーク・チャレンジ隊 | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |

2. 湿原と人との関わりの歴史と今を知る

| | | | | | |
|------------------------------------|----|----------------|------------------------------|-----------|----------|
| 管理地「山崎山林」にて企画ツアーの実施や視察研修の場を提供します | 新規 | 一般 | 株式会社 北都 | 受入れ数・実施内容 | |
| 施設来訪者へのタンチョウの解説とスライドショーを行います | 継続 | 施設来訪者 | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 実施回数・実施内容 | 7,8,9に再掲 |
| タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します | 継続 | 教職員・観察会のリーダーなど | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 湿原保護再生のための研究、教育活動、地域への発信、意見交換会の実施等 | 継続 | 一般 | 北海道標茶高等学校 | 参加者数・実施内容 | 1,7に再掲 |

3. 自然再生の仕組みや動きを広める

| | | | | | |
|-------------------------------|----|----|---------------|------------|-----------|
| 各施設で自然再生事業を紹介する展示を行います | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 利用者数 | 7,8,9に再掲 |
| 環境省の自然ふれあい行事で、自然再生事業をPRします | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 参加者数 | 1,6,7に再掲 |
| 自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・アクセス数 | 4,9,10に再掲 |
| 自然再生に関わる印刷物の作成・発行をし、配布します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 配布回数 | 4に再掲 |
| 自然再生に関わるパネル展など企画・実施します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 実施回数・実施内容 | |
| 自然再生に関わる講演会等を実施します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 参加者数・実施内容 | 5に再掲 |

| 2006年度具体的取組み予定 | 新規or継続 | 対象者 | 主催者・協力者 | 評価手法 | 備考 |
|--|--------|-----------|------------------------------|---------------|---------|
| 自然再生に関わる視察・研修等の受け入れ・協力を行います | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 受け入れ数 | 7に再掲 |
| 各種イベント時において自然再生を紹介します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 実施回数・ 実施内容 | |
| 釧路湿原ガイドブックの販売を進めます | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 販売部数 | 9に再掲 |
| 地元新聞社への情報掲載依頼等を行います | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 掲載回数 | 6に再掲 |
| 各種情報誌での掲載を行います | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 掲載回数 | 6に再掲 |
| 自然保護を目的とする学生組織「F・Aネットワーク」と協力しワークキャンプを実施します | 継続 | F・Aネットワーク | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 参加者数・ 実施内容 | 5, 8に再掲 |

4. 自然再生について情報公開と合意形成を進める

| | | | | | |
|-------------------------------|----|----|-------------|----------------|-----------------|
| 自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・ア クセス数 | 3, 9, 10に 再掲 |
| 自然再生に関わる印刷物の作成・発行をし、配布します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 配布回数 | 3に再掲 |
| 意見交換会等を実施します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 参加者数・ 実施内容 | 5に再掲 |

5. 自然再生に地域・市民の参加を促す

| | | | | | |
|---|-----------|-----------------|---------------------------|----------------|-----------------|
| トラスト地におけるボランティア作業の受け入れを行います | 継続 | 一般 | NPO法人トラストサルン釧路 | 受入れ数・ 実施内容 | 7に再掲 |
| カヌーで達古武湖の清掃を行います | 新規 | 社員 | 環境コンサルタント株式会社 | 実施内容 | |
| 「まなぼと子ども探検隊」において、子ども達に自然体験をしてもらう | 継続 | 子ども(小4 ~小6) | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・ 実施内容 | 1, 7に再掲 |
| クリーンウォーク・観察会を開催します | 継続 | 一般 | 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの 会 | 参加者数・ 実施内容 | 7に再掲 |
| 「釧路湿原こどもレンジャー」事業を実施します | 継続 | 子ども(小4 ~中学生) | 釧路湿原国立公園連絡協議会 | 参加者数・ 実施内容 | 7に再掲 |
| ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・ア クセス数 | 1, 9, 10に 再掲 |
| 意見交換会等を実施します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 参加者数・ 実施内容 | 4に再掲 |

| 2006年度具体的取組み予定 | 新規or継続 | 対象者 | 主催者・協力者 | 評価手法 | 備考 |
|--|--------|-----------|--------------------------------|-----------|--------|
| 自然再生に関わる講演会等を実施します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 参加者数・実施内容 | 3に再掲 |
| 「釧路湿原川レンジャー」を募集し、活動を行います | 継続 | 一般 | 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部 | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 「くしろ環境スクール」受講生で活動を行います | 継続 | 一般 | 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部・財団法人日本生態系協会 | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 自然保護を目的とする学生組織「F・Aネットワーク」と協力しワークキャンプを実施します | 継続 | F・Aネットワーク | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 参加者数・実施内容 | 3、8に再掲 |

6. 自然再生への幅広い支援・協力を求める

| | | | | | |
|----------------------------|----|----|---------------|---------|------------|
| 環境省の自然ふれあい行事で、自然再生事業をPRします | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 参加者数 | 1, 3, 7に再掲 |
| 地元新聞社への情報掲載依頼等を行います | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 掲載回数 | 3に再掲 |
| 各種情報誌での掲載を行います | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 掲載回数 | 3に再掲 |
| 自然再生協議会への協賛や寄付金を募ります | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 協賛・寄付件数 | |

7. 湿原と継続的に関わる学びの場をつくる

| | | | | | |
|--|----|----------|-----------------|-----------|------------|
| トラスト地におけるボランティア作業の受入れを行います | 継続 | 一般 | NPO法人トラストサルン釧路 | 受入れ数・実施内容 | 5に再掲 |
| 湿原流域の水辺において体験型環境教育を行います | 新規 | 小学校高学年以上 | 環境コンサルタント株式会社 | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |
| 各施設で自然再生事業を紹介する展示を行います | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 利用者数 | 3, 8, 9に再掲 |
| 環境省の自然ふれあい行事で、自然再生事業をPRします | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 参加者数 | 1, 3, 6に再掲 |
| 湿原観察会を実施します | 継続 | 一般 | 釧路国際ウェットランドセンター | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |
| 「いきいき女性講座」において、釧路湿原の動植物の生態系や湿原の果たす役割などを学習します | 継続 | 女性 | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |
| 「まなぼっとお達者塾『いきがい新発見』」において、ノロッコ号に乗って釧路湿原のすばらしさを実感し、自然の大切さを再認識します | 継続 | 一般 | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |

| 2006年度具体的取組み予定 | 新規or継続 | 対象者 | 主催者・協力者 | 評価手法 | 備考 |
|---|--------|----------------|----------------------------------|-----------|------------|
| 「まなぼっと子ども探検隊」において、子ども達に自然体験をしてもらいます | 継続 | 子ども(小4~小6) | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 1, 5に再掲 |
| 「湿原 ほたる講座」において、親子でほたるについて学習した後、温根内にて観察を行います | 継続 | 一般 | 釧路市生涯学習センター | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |
| 自然再生に関わる視察・研修等の受け入れ・協力をを行います | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 受け入れ数 | 3に再掲 |
| クリーンウォーク・観察会を開催します | 継続 | 一般 | 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 | 参加者数・実施内容 | 5に再掲 |
| 「釧路湿原こどもレンジャー」事業を実施します | 継続 | 子ども(小4~中学生) | 釧路湿原国立公園連絡協議会 | 参加者数・実施内容 | 5に再掲 |
| 「釧路湿原川レンジャー」を募集し、活動を行います | 継続 | 一般 | 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部 | 参加者数・実施内容 | 5に再掲 |
| 「くしろ環境スクール」受講生で活動を行います | 継続 | 一般 | 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部・財団法人日本生態系協会 | 参加者数・実施内容 | 5に再掲 |
| 施設来訪者へのタンチョウの解説とスライドショーを行います | 継続 | 施設来訪者 | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 実施回数・実施内容 | 2, 8, 9に再掲 |
| タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します | 継続 | 教職員・観察会のリーダーなど | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 参加者数・実施内容 | 2に再掲 |
| 湿原に関する環境教育を実施します | 継続 | 標茶高校生徒 | 太平洋総合コンサルタント株式会社 | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |
| ゼミにおいて釧路湿原自然再生事業を調査・研究し、政策の提案をいたします | 継続 | 一般 | 法政大学経済学部西澤ゼミナール有志+明海大学経済学部 黒川 哲治 | 実施内容 | |
| 湿原保護再生のための研究、教育活動、地域への発信、意見交換会の実施等 | 継続 | 一般 | 北海道標茶高等学校 | 参加者数・実施内容 | 1, 2に再掲 |
| 「釧路湿原“音”探検」を実施します | 継続 | 一般 | ボランティアネットワーク・チャレンジ隊 | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |

8. 国立公園の新しい利用形態を創り出す

| | | | | | |
|--|----|-----------|------------------------------|-----------|------------|
| 各施設で自然再生事業を紹介する展示を行います | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 利用者数 | 3, 7, 9に再掲 |
| 「1/4ウォーク」を開催し、釧路湿原国立公園周辺約80Kmを廻ります | 継続 | 一般 | 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 | 参加者数・実施内容 | 1に再掲 |
| 施設来訪者へのタンチョウの解説とスライドショーを行います | 継続 | 施設来訪者 | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 実施回数・実施内容 | 2, 7, 9に再掲 |
| 自然保護を目的とする学生組織「F・Aネットワーク」と協力しワークキャンプを実施します | 継続 | F・Aネットワーク | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 参加者数・実施内容 | 3, 5に再掲 |

| 2006年度具体的取組み予定 | 新規or継続 | 対象者 | 主催者・協力者 | 評価手法 | 備考 |
|----------------|--------|-----|---------|------|----|
|----------------|--------|-----|---------|------|----|

9. 湿原を訪れる人へのサービスを改善する

| | | | | | |
|---|----|-------|------------------------------|------------|-------------|
| 各施設で自然再生事業を紹介する展示を行います | 新規 | 一般 | 環境省 釧路自然環境事務所 | 利用者数 | 3, 7, 8に再掲 |
| 自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・アクセス数 | 3, 4, 10に再掲 |
| ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・アクセス数 | 1, 5, 10に再掲 |
| 釧路湿原ガイドブックの販売を進めます | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 販売部数 | 3に再掲 |
| 施設来訪者へのタンチョウの解説とスライドショーを行います | 継続 | 施設来訪者 | 財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ | 実施回数・実施内容 | 2, 7, 8に再掲 |

10. 人・施設・地域のネットワークをつくる

| | | | | | |
|---|----|---------|-----------------|------------|------------|
| JICA研修を行います | 継続 | JICA研修員 | 釧路国際ウェットランドセンター | 参加者数・実施内容 | 7に再掲 |
| 釧路、厚岸、浜中の湿原と、姉妹湿地提携先のオーストラリアの湿地との間で、情報交換等交流・協力を実施します。 | 継続 | 一般 | 釧路国際ウェットランドセンター | 実施内容 | |
| 技術委員会による研究活動を行います | 継続 | 委員 | 釧路国際ウェットランドセンター | 実施内容 | |
| 温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで行われるプログラムの情報共有と施設間の連携を図ります | 継続 | 指導員 | 釧路湿原国立公園連絡協議会 | 実施内容 | |
| 自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・アクセス数 | 3, 4, 9に再掲 |
| ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します | 継続 | 一般 | 釧路湿原自然再生協議会 | 更新回数・アクセス数 | 1, 5, 9に再掲 |
| 湿原と名のつく美味しいものを食べに行き、その情報を広めます | 新規 | 飲食店・一般 | 無藤 雅美 | 来店数・品目 | |

協力

| | | | | | |
|---|----|----|-------------|--|--|
| 釧路湿原をイメージした紙粘土人形の展示をします | 新規 | 一般 | 小川 幸子 | | |
| 釧路湿原周辺施設にて、演奏(釧路湿原をイメージしたオリジナル曲)の協力をします | 継続 | 一般 | 北島 万鈴 | | |
| 写真・パネル展等の展示場の提供 | 継続 | 一般 | 細岡ビジターズラウンジ | | |



個人 / 団体別一覧

ワンダグリダ・プロジェクト2006 個人/団体別一覧表

| 氏名・団体名 | 取り組み概要 | 協議会やWGへの要望 | No |
|---------------------|---|---|----|
| NPO法人トラス サルン釧路 | トラスト地におけるボランティア作業の受入れを行います | | 1 |
| 株式会社 FMくしろ | ラジオ番組「ゆうゆう釧路湿原塾」を毎週放送します | | 2 |
| 株式会社 北都 | 管理地「山崎山林」にて視察や研修ツアーの場を提供します | (当社も山林ツアーの企画を予定していますが)他の団体からの企画の協力/森林施業以外の動植物・歴史文化・ネイチャーレクリエーション等のガイドや講師の紹介/参加者の公募・集客・管理の協力/旅行会社・保険会社等の関連企業の紹介/今まで行われていたネイチャーツアー等の情報の紹介 | 3 |
| 環境コンサルタント 株式会社 | 湿原流域の水辺において体験型環境教育を行います | 受入れ先の紹介(場所・時期等は受入れ先決定後、相談) | 4 |
| | カヌーで達古武湖の清掃を行います | | 5 |
| 環境省 釧路自然 環境事務所 | 各施設で自然再生事業を紹介する展示を行います | | 6 |
| | 環境省の自然ふれあい行事で、自然再生事業をPRします | | 7 |
| 釧路国際ウェットラ ンドセンター | 湿原観察会を実施します | 他団体の活動情報の提供 | 8 |
| | ホームページによる釧路湿原の情報を発信します | 他団体の活動情報の提供 | 9 |
| | 湿原に関するニュースレターを、英語版と日本語版で発行します | 他団体の活動情報の提供 | 10 |
| | 技術委員会による研究活動を行います | 他団体の活動情報の提供 | 11 |
| | JICA研修を行います | 他団体の活動情報の提供 | 12 |
| | 釧路、厚岸、霧多布の湿原とオーストラリアの湿地が姉妹提携し、情報、人的交流等を実施します | 他団体の活動情報の提供 | 13 |
| 釧路市生涯学習セン ター | 「湿原 ほたる講座」において、親子でほたるについて学習した後、温根内にて観察を行います | | 14 |
| | 「いきいき女性講座」において、釧路湿原の動植物の生態系や湿原の果たす役割などを学習します。 | | 15 |
| | 「まなぼっとお達人塾『いきがい新発見』」において、ノロッコ号に乗って釧路湿原のすばらしさを実感し、自然の大切さを再認識します。 | | 16 |
| | 「まなぼっ子ども探検隊」において、子ども達に自然体験をしてもらう | | 17 |

| 開催(予定)時期 | 取り組み掲載 |
|--------------------------|------------|
| 年4回 | 5, 7 |
| 毎週月曜 13:45~ | 1 |
| 視察 6~11月に2回 森林セラピー 9月 | 2 |
| 8月に数回 | 1, 7 |
| 5~6月に1回 | 5 |
| 随時 | 3, 7, 8, 9 |
| 随時 | 1, 3, 6, 7 |
| 年2回 | 1, 7 |
| 随時 | 1 |
| 随時 | 1 |
| 年2回 | 10 |
| 年2回 | 7, 10 |
| 4月下旬 | 10 |
| 7月14日(金)18:00~ | 1, 7 |
| 6月16日(金)9:30~ | 1, 7 |
| 6月22日(木)10:00~ | 1, 7 |
| 7月29日(土)9:30~ | 1, 5, 7 |

| | | | |
|--------------------------------|---|-----------------------|----|
| 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 | クリーンウォーク・観察会を開催します | | 18 |
| | 「1/4ウォーク」を開催し、釧路湿原国立公園周辺約80Kmを廻ります。 | | 19 |
| 釧路湿原国立公園連絡協議会 | 湿原に関する情報を毎月紙面で発行します | 他団体が実施する自然観察会などの情報の紹介 | 20 |
| | ホームページによる釧路湿原の情報を発信します | 他団体が実施する自然観察会などの情報の紹介 | 21 |
| | 「釧路湿原こどもレンジャー」事業を実施します | 他団体が実施する自然観察会などの情報の紹介 | 22 |
| | 温根内ビジターセンターと塘路エコミュージアムセンターで行われるプログラムの情報共有と施設間の連携を図ります | 他団体が実施する自然観察会などの情報の紹介 | 23 |
| 釧路新聞社・釧路町観光協会 | 釧路湿原コンサートを開催します | 広報 | 24 |
| 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部 | 「釧路湿原川レンジャー」を募集し、活動を行います | 広報・周知のための情報発信 | 25 |
| 国土交通省北海道開発局釧路開発建設部・(財)日本生態系協会 | 「くしろ環境スクール」受講生で活動を行います | 広報・周知のための情報発信 | 26 |
| 財団法人日本野鳥の会鶴居・伊藤夕智子サクソアリ | 施設来訪者へのタンチョウの解説とスライドショーを行います | | 27 |
| | タンチョウティーチャーズガイド講習会を実施します | | 28 |
| | 自然保護を目的とする学生組織「F・Aネットワーク」と協力しワークキャンプを実施します。 | | 29 |
| さとぼん(管理人ハンドルネーム) | 釧路湿原の魅力、歩き方に関する情報を発信します | | 30 |
| | 旅を通じて自然の美しさや大切さを、自然に感じられるような釧路湿原の情報発信をします | | 31 |
| 太平洋総合コンサルタント株式会社 | 湿原に関する環境教育を実施します | | 32 |
| 法政大学経済学部西澤ゼミナール有志+明海大学経済学部黒川哲治 | ゼミにおいて釧路湿原自然再生事業を調査・研究し、政策の提案をいたします | | 33 |
| 北海道標茶高校 | 農家や各産業と連携した検討会や環境学習会を実施します | | 34 |
| ボランティアネットワーク・チャレンジ隊 | 「じゅう箱のスミ」を媒体に、湿原再生の取り組みやそこに関わる人々の姿をわかりやすく楽しく市民に発信します | | 35 |
| | 「釧路湿原“音”探検」を実施します | 開催時のPR、他団体との共催事業として | 36 |
| 無藤 雅美 | 湿原と名のつく美味しいものを食べに行き、その情報を広めます | | 37 |

| | |
|---------------------------------|------------|
| 毎月第2土曜10:00~ | 5, 7 |
| 春5月21日 夏8月20日 秋10月15日 冬1月28日 | 1, 8 |
| 随時 | 1 |
| 随時 | 1 |
| 年4回 | 5, 7 |
| 随時 | 10 |
| 年3~4回 | 1 |
| 年4~5回 | 5, 7 |
| 未定 | 5, 7 |
| 10~3月 | 2, 7, 8, 9 |
| 未定 | 2, 7 |
| 春夏1回ずつ | 3, 5, 8 |
| 随時 | 1 |
| 随時 | 1 |
| 10月 | 1, 7 |
| 未定 | 7 |
| 5~10月 | 1, 2, 7 |
| 随時 | 1 |
| 6月10日(土) | 1, 7 |
| 随時 | 10 |

協力

| | | | |
|-------------|---|----------------------------|----|
| 小川 幸子 | 釧路湿原をイメージした紙人形の展示をします | 他団体との共催で。作品運搬の協力 | 38 |
| 北島 万鈴 | 釧路湿原周辺施設にて、演奏（釧路湿原をイメージしたオリジナル曲）の協力をします | イベント会場の紹介 | 39 |
| 細岡ビクターズラウンジ | 写真・パネル展等の展示場の提供 | 当方施設で利用できることがあれば相談のうえ開放も可能 | 40 |

計 22 団体(個人)

計 40 取組み

協議会

| | | | |
|-------------|---|--|----|
| 釧路湿原自然再生協議会 | 意見交換会等を実施します | | 41 |
| | 各種イベント時において自然再生を紹介します | | 42 |
| | 各種情報誌での掲載を行います | | 43 |
| | 釧路湿原ガイドブックの販売を進めます | | 44 |
| | 自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します | | 45 |
| | 自然再生に関わる印刷物の作成・発行をし、配布します | | 46 |
| | 自然再生に関わる講演会等を実施します | | 47 |
| | 自然再生に関わる視察・研修等の受け入れ・協力をを行います | | 48 |
| | 自然再生に関わるパネル展など企画・実施します | | 49 |
| | 地元新聞社への情報掲載依頼等を行います | | 50 |
| | ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します | | 51 |
| | 自然再生協議会への協賛や寄付金を募ります | | 52 |

| | |
|-------|-------------|
| 年4～5回 | 4, 5 |
| 随時 | 3 |
| 随時 | 3, 6 |
| 随時 | 3, 9 |
| 随時 | 3, 4, 9, 10 |
| 随時 | 3, 4 |
| 随時 | 3, 5 |
| 随時 | 3, 7 |
| 随時 | 3 |
| 随時 | 3, 6 |
| 随時 | 1, 5, 9, 10 |
| 随時 | 6 |

今後のスケジュール(案)

| | |
|------------|--|
| 2006年5月11日 | 再生普及小委員会 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト2005」報告書の承認 「ワンダグリンド・プロジェクト2006」の承認 |
| 6月下旬 | <p>「ワンダグリンド・プロジェクト2006」公開</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト2005」報告書の作成・配布</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>WG事務局としての取組みの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワンダグリンド・プロジェクト2006」進捗状況の把握 ・保全・再生を意識していない取組みの把握 ・実施内容の把握(取材・写真) ・実施者の報告書の回収 <p>「ワンダグリンド・プロジェクト2006」実施状況とりまとめ</p> </div> |
| 11月～12月ごろ | <p>第11回自然再生協議会 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト」の報告</p> <p>再生普及行動計画WG 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト2006」中間報告ととりまとめの検討 「ワンダグリンド・プロジェクト2007」募集方法の検討</p> |
| 2007年 | <p>再生普及小委員会 開催 「ワンダグリンド・プロジェクト2006」中間報告ととりまとめの承認 「ワンダグリンド・プロジェクト2007」募集方法の承認</p> |
| 2月下旬～3月下旬 | <p>「ワンダグリンド・プロジェクト2007」募集 「ワンダグリンド・プロジェクト2006」実施状況とりまとめ</p> |

ワンダグリンド・プロジェクトは、再生普及行動計画具体的取組みの愛称です。

